

# 日本全国に宇和島のイチゴを届ける

認定新規就農者（いちご） 古岩 樹



## 大学卒業後、農林水産研究所で研修

古岩樹氏は、農林水産研究所で1年間の研修を行い、様々な農業知識を得てから就農。宇和島市ではイチゴ農家が減少傾向にあるが、そこにビジネスチャンスを感じているとのこと。

就農1年目は、収穫やバック詰め作業、販路確保に苦労したようだが、短期雇用や販路開拓の営業活動によって少しずつ課題を解決している様子。新品種栽培も検討中のように、これからどのような農業をしていくのか期待される。



古岩氏が管理するイチゴ園

## 日本全国に宇和島のイチゴを届けていきたい

全国の人に宇和島のイチゴを味わってもらいたいと熱く語る古岩氏は、全国出荷を進めている。早くから関係者の紹介などを通じた営業活動に取組み、最近、道の駅などに加えてホテルやフランス料理店へ出荷するようになったとのこと。

将来的には海外輸出も視野に入れているようで、更なる技術習得や長距離出荷に適した品種の選定など、チャレンジ精神旺盛で前向きに農業に勤しんでいる様子。



これから実をつけるイチゴの花

## これから新規就農を目指す方へ

就農するまでは、正直農業が楽しいというイメージは持っていませんでした。しかし、就農してみると苦労も多いがその分やりがいもあり、皆さんに美味しいと食べてもらうことを心から嬉しく感じます。

農林水産研究所では、1つに偏らず様々な知識を得ることができ、色々な農業者とつながりを得ることができますので、就農前に研修機関の活用を検討してみてもいいでしょうか。



6月中下旬まで収穫し出荷する予定

農家になったきっかけ	祖父母がイチゴ農家であり、イチゴ農業に将来性を感じて就農
栽培作物	イチゴ
栽培面積	約20a
農業歴	2年